



私は大学に入る1年前、浪人時代であった1988年から京都で暮らし始め、今年で38年になる。

学生時代は風呂なし下宿に暮らし銭湯通い、アルバイトは錦市場、作務衣姿でまちを歩き、旧武徳殿で剣道の稽古に励むなど、京都生活を思い切り満喫した。今思えば、当時の時代に抗う(?)ことに何となく憧れてい、そうした環境がまだまだ残っていた京都の暮らしは性に合っていたのかもしれない。

1993年、大学卒業後就職したのは京都室町の呉服メーカー。おりしもバブル崩壊後の不景気で、地域の活力が失われる中で抱いた京都のまちへの問題意識から大学院に入学し、研究者としてキャリアチェンジした。その頃出会った、「京町家まちづくり調査」(平成10年度)にボランティアとして参加したことが、私が京都とのかかわりを深めることになった原点である。

以降、京都市の「まちづくり塾支援事業」に応募し採択された、京都の伝統産業を通じたまちづくりを進める「京都ものづくり塾」の主宰や、KBS京都テレビの討論番組から立ち上った、京都のまちのブランド化を進める「楽洛まちぶら会」への参加といった市民活動と、山科の商店街や清水焼団地をはじめとする伝統産業産地の調査といった

大学院での研究が大きな柱となった。ここでの多くの人たちとの出会いや経験が、自身の京都に対する認識を深めることにつながったとともに、そこで得られた人脈は、今もなお自分にとっての貴重な財産となっている。

2009年、大学の職を得、週の大半は京都を離れる生活となったが、その間も、「NPO法人四条京町家」の立ち上げと理事就任、第4期京都市未来まちづくり100人委員会の委員として京都とのつながりは維持していた。またその間に京都のまちづくりにおける「新たなプレイヤー」が誕生していることを知った。

2017年4月、現職に就き、再び京都市内に拠点を戻すことになったが、これまでと同様に、NPOの役員や、各種委員会の委員など(町内会の副会長も経験した)を歴任している。もうかれこれ30年近く京都のまちづくりにかかわり続けているといつても過言ではないだろう。

私にとっての京都は、人と出会い、人から学び、鍛えられることで、自らを形成してきた場であるといえる。まだまだ未熟ゆえ、学ぶべきことは多いが、一方でそろそろ次の世代への継承も意識しなければならない年齢となった。まもなく40年となる京都暮らしで得られたことを誰に、どのように伝えようか。

## 未来と町家をマッチする トークセッション 2025 動画公開中

京町家等継承ネットではポータルサイトのMATCH YAにて、「未来と町家をマッチする トークセッション2025」の動画を公開しました。

今回は、京都市と共に実施したQUESTIONタウンミーティングです。京町家の居住者や実際に活用している方をお招きし、京町家の「リアル」を語り、会場の参加者とともに、自分事として京町家を未来につなぐためにできることを考えました。多彩な講師をお招きし、京町家の今を語ったこれまでの動画も掲載していますので、併せてご覧ください。

●開催日：2025年8月29日

●テーマ：①京町家暮らしのリアル

●登壇者：荒川朋彦氏(有限会社キタ商事 取締役)

カルドネル島井 佐枝氏(MUZ ART PRODUCE 代表)

②京町家の新しい可能性

●会場：コミュニティ・バンク京信

QUESTION(クエスチョン)

●司会：中嶋節子氏(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

●主催：京都市

●共催：ダイモン ナオ氏(イラストレーター、「草と本」店主)

西澤徹生氏(株式会社ニシザワスタイル 代表)

三島奈月氏(京都美術工芸大学 学生)

●司会：中嶋節子氏(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

●主催：京都市

●共催：コミュニティ・バンク京信(京都信用金庫)

京町家等継承ネット

(公財)京都市景観・まちづくりセンター

113

# ニュースレター 京まち工房

公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

おもなトピック  
景観まちづくり  
活動紹介  
ファンド事業報告

鳥居本町の重要伝統的建造物群保存地区の夜景

愛宕神社の鳥居

ごあいさつ

今年は夏の猛暑の影響で、モミジなどの葉が紅葉せずに枯れて落ちる「早期落葉」が京都でも多く発生したそうです。春と秋が短くなる「二季化」傾向により、京都の四季を楽しむ暮らし方も変わっていくのでしょうか。今号では、地域の四季折々の景観を生かしたまちづくり活動と、当財団の令和7年度京町家まちづくりファンド事業の助成対象先をご紹介します。

## ニュースレター 京まち工房 113

公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

### 令和7年度賛助会員募集中！

入会をご希望の方はまちセンにお問合せくださいか、ホームページをご覧ください

賛助団体の皆様

「京ぐらし」ネットワーク

アルパック  
株式会社 地域計画建築研究所

「価値ある相続」をコーディネート  
一般社団法人 相続相談センター

施設HP

財団HP

Facebook

京都市景観・まちづくりセンター

検索

フロット エ-ショップ

平安建材 株式会社

京都駅ビル

京都駅ビル  
京都城内居住支援者会議

八清 (はちせ)  
町家・中古住宅

HACHISE  
町家・中古住宅

住宅金融支援機構  
Japan Housing Finance Agency

健康不動産 株式会社

KYOTO  
BREWING CO.

ニュースレター京まち工房 第113号 2025年12月 編集・発行：公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

# 鳥居本町景観まちづくり協議会の二年

京都盆地の西北、百人一首編纂の地、嵯峨野。春は嵯峨祭の鉦が鈴の音高らかに練り歩き、秋は名高き月に照らされる、火伏の神:愛宕山へ向かう街道沿いに瓦葺と茅葺並ぶ重要伝統的建造物群保存地区、晩夏に蟬燭搖らめく化野念佛寺、無数の羅漢こけむす愛宕念佛寺。そして盆の暮れ、太鼓を合図に炎が走る五山の送り火:鳥居形。

この全てを有する風光明媚な地の景観と生活環境を守る活動に邁進しているのが、鳥居本町景観まちづくり協議会(以下、協議会)です。令和5年に16番目の地域景観づくり協議会として京都市から認定を受けて以降、地域景観づくり協議地区の範囲内で計画される建築や新規の事業など対象となる行為について、周囲と調和したものになることを目指して事業者等との事前協議を毎月執り行っています。しかし、協議会の活動はそれだけにとどまりません。

協議会の大切な目標。それは、門前町らしく心地よくにぎわいながら、そこに住む人々の暮らしも豊かになる。鳥居本町に関わる人々全員が、さらに愛着を持てるまちをつくること。まちセンからは、協議会を総合的にサポートするまちづくりの専門家を令和6年度より継続して派遣しています。

## 協議会の取組

専門家と二人三脚で進めるまちづくり活動。これまで様々な取組を行ってきました。

取組の軸は次の2点。協議会の運営基盤を持続的で強固なものにするため「知ること」。そして地域の方々や関係する方々に協議会を「知ってもらうこと」。

はじめの「知ること」。事業者などとの事前協議を円滑に進めるため、協議の進め方から関連する条例についてまで網羅した事前協議マニュアルを作成しました。また、他の地域景観づくり協議会に比べ、協議地区の範囲が広い鳥居本町。古くからお住まいの方、鳥居本の景観に魅了され移住された方、ご高齢の方、お若い方、お商売をなさっている方、お住まいになっている方、その両方の方。様々な人が関わり、多様な景観が生まれるこの地が目標とする、よりよいまちの形を具体的に構築するため、地域の方々に景観についてお話を伺うヒアリング活動を継続して行っています。

そして「知ってもらうこと」。協議会の活動は、地域の皆さんあってこそ。ともに景観まちづくりを行うために、区域内に向けて情報発信を行っています。今年度は新たな取組も始動しました。

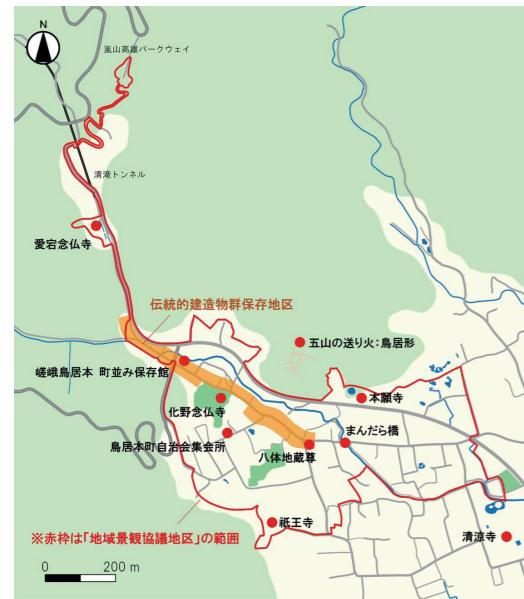


## 協議会パンフレット、できました!

先日、協議会の活動を主に地域の方々に知ってもらうために、協議会パンフレットを作成しました。文面は協議会の役員、構成と地図は派遣専門家、最終的なデザインはプロのデザイナーさんに協力してもらい、鳥居形で奉納する護摩木の販売所にて、お配りしました。今後も新たに地域と関わる人々にもお渡しし、鳥居本の景観に対する想いを伝えてゆきます。

地域の景観のため、様々な取組を行う鳥居本町景観まちづくり協議会の活動にご協力お願いいたします。

これからもまちセンは、京都のそれぞれのまちづくり協議会の活動を応援します!



## 京町家まちづくりファンド改修助成事業 令和6年度選定 昭和小路 ココナガヤ 完成見学会を開催しました!

爽やかな秋の風を感じるようになった11月はじめ、令和6年度に京町家まちづくりファンド改修助成事業で選定した「昭和小路 ココナガヤ」にて、完成見学会を開催しました。今回は、ファンド関係者へのお披露目と京町家相談員の研修を兼ねた見学会となりました。

令和6年度に京町家まちづくりファンド改修助成事業にて選定した「昭和小路 ココナガヤ」は、路地奥に位置する空き長屋を改修し、若者・子育て世帯向けの職住一体の建物として活用するプロジェクトです。

令和7年6月に建物工事が完了し、順次、ココナガヤのコンセプトに理解のある入居者を募集されていました。見学会開催時には3戸のうち1戸は入居済み、他の2戸もすでに入居者が決まっており、順調に活用が進められています。

当日は、「ココナガヤ」を運営する(株)KOMOCHIYAの石田氏より、長屋を中心に生まれる住民同士の交流や活動について、設計を担当した(株)山本嘉寛建築設計事務所の山本氏より、改修工事について解説いただきました。改修前からの変貌ぶりに、見学者の皆さんは驚かれた様子でした。古くから残る路地奥の長屋に新しい風が吹き込み、この地域に活気が溢れていくことを楽しみにしています。



### 見学会概要

日 時：令和7年11月6日(木)14:30～16:30  
場 所：昭和小路 ココナガヤ(東山区五条橋東四丁目)  
解 説：石田 聰一郎 氏(株)KOMOCHIYA 取締役  
山本 嘉寛 氏(株)山本嘉寛建築設計事務所 代表  
対 象：京町家まちづくりファンドへご寄附いただいた皆様、  
京町家まちづくりファンド委員、  
京町家相談員 他

## 京町家まちづくりファンド改修助成事業

### 令和7年度 京町家まちづくりファンド改修助成事業を選定しました！

京町家まちづくりファンドでは、京町家への外観改修費用の助成を通じて、所有者・居住者とともに、京町家をまちづくりの拠点として再生し、次の時代につないでいく取組を行っています。今年度は3件の事業を選定しました。

#### 京町家の改修

##### 鯉山町会所 中京区

祇園祭では懸装品の展示や粽の授与が行われるなど、重要な役割を果たす鯉山町会所。その伝統文化の継承に相応しく外観を改修するプロジェクト。



#### 通り景観の修景

##### 藤西町の路地 中京区

かつては紅染業を営んでいた11戸の賃貸住宅からなる路地。その路地全体を再生していくプロジェクトの一歩目として、醒ヶ井通に面する2軒の修景を行う。



##### 祇園紅雪辻子 東山区

4軒の京町家と2軒の新築からなる、四条通から花見小路へと抜ける紅雪辻子。四条通沿いを復原的に改修し、路地全体の修景を行う。

